

令和2年度活動報告について

- I 賢明な利活用及び地域振興検討合同部会（部会長・事務局 栃木市）
令和2年度活動報告 P 1
- II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会
（部会長・事務局 小山市） 令和2年度活動報告 P 3
- III 関連性のある既存組織との連携 P 5



第9回 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
令和3年8月19日（木）

I 賢明な利活用及び地域振興検討合同部会

(部会長・事務局 栃木市) 令和2年度 活動報告 1 / 2

具体的テーマ：「ラムサール10周年記念事業に向けた取組み」
「レンタサイクルの連携等について」「案内サインの検討」

第24回 合同部会 (令和2年9月23日) (書面による開催)

- ・令和2年度活動計画についてアンケートを実施
テーマ「ラムサール10周年記念事業に向けた取組みについて」「渡良瀬遊水地の将来像について」
「10周年以降の取り組むべき事項について」「ヨシ焼きの継続実施について」

第25回 合同部会 (令和2年11月25日) (書面による開催)

- ・第24回合同部会で実施したアンケート結果の概要を報告
- ・アンケート結果による幹事会で検討した方向性を報告
- ・利根川上流河川事務所より渡良瀬遊水地のトータルデザインの取組みについて紹介

第26回 合同部会 (令和3年1月22日) (書面による開催)

- ・ラムサール10周年記念事業について、幹事会で検討した内容を報告
- ・レンタサイクルの連携について、各市町及びアクリメーション振興財団との打合せ結果を報告
- ・利根川上流河川事務所より渡良瀬遊水地のトータルデザインの取組みについてアンケートを実施

第27回 合同部会 (令和3年6月23日) (書面による開催)

- ・ 第9回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の報告事項確認
- ・ 利根川上流河川事務所よりトータルデザイン事業について報告

トータルデザインとは

渡良瀬遊水地の利用促進を個々の段階で検討するのではなく、

- ① 素材・魅力 (利活用メニュー) を、
- ② 伝え (広報)
- ③ 快適に利用してもらう (受入環境、案内) ための、
- ④ マネジメント (①+②の運用方針) を一貫してデザインすることをいいます。

最初にコンセプトを検討し、統一した考え・デザインで展開します。

《具体的なデザインの対象(例)》

【利活用メニュー】

※渡良瀬遊水地で
見せたいもの、
伝えたいこと
・体験プログラム
・地域活動 等

【広報媒体】

・エンブレム
・アプリケーション
(パンフレット、
チラシ、パネル等)

【広報活動】

・メディア掲載
・観光アプリ 等

【受入環境・案内】

・サイン計画
・看板
・観光アプリ

渡良瀬遊水地の利用促進
(ブランドづくり)

図 取組の体系図

現在地が第2調節池を表す

景観と看板の方向が合うよう、
ヘッドアップ型(進行方向が地図の上になる)
で制作



第2調節地の堤防上に設置された案内サイン看板(令和3年3月)

II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会 (部会長・事務局 小山市) 令和2年度活動報告 1/2

具体的テーマ：「野鳥の生息環境の保全」、「遊水地のガイドブック等(英語版含む)」、「普及啓発のための人材育成」

第24回 合同部会 (令和2年9月23日) (書面による開催)

- ・今年度事業の具体的な内容や今後の進め方を示し、アンケートを実施
- ・「わたらせシールラリー2020」の1年延長について提案しアンケートを実施

第25回 合同部会 (令和2年11月25日) (書面による開催)

- ・負傷したコウノトリ「歌」の保護～死亡までの経緯を報告
- ・コウノトリのヒナ誕生記念切手について郵便局と調整であることを報告
- ・ヨシ焼き前クリーン作戦の実施計画(案)の作成・報告
- ・「わたらせシールラリー2020」の1年延長決定について報告



シールラリーチラシ (1年延長後)



コウノトリのヒナ誕生記念切手



ヨシ焼き前クリーン作戦実施箇所の検討

II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会 (部会長・事務局 小山市) 令和2年度活動報告 2/2

第26回 合同部会 (令和3年1月22日) (書面による開催)

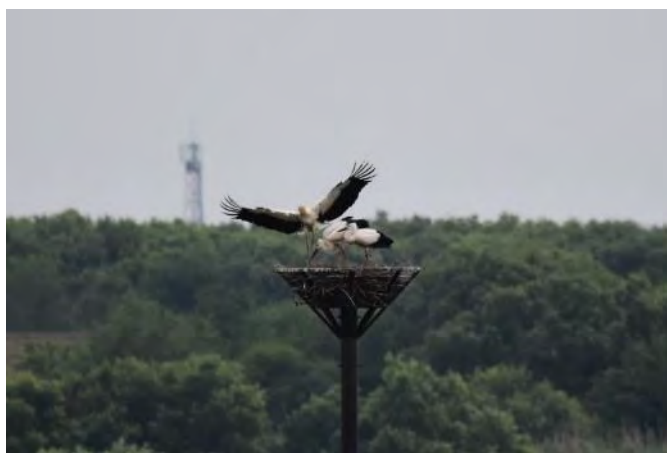
- ・コウノトリに関する情報提供
渡良瀬遊水地への飛来情報、「ひかる」と「レイ」のペアリング、「歌」のはく製、コウノトリのヒナ誕生記念切手の完売について報告
- ・ヨシ焼き前クリーン作戦の実施計画について、開催通知、実施計画(案)の報告と、作業場所選定のためのアンケートを実施

第27回 合同部会 (令和3年6月23日) (書面による開催)

- ・令和3年度事業計画についてアンケートを実施し意見聴取
- ・令和3年3月29日にコウノトリ「ひかる」・「レイ」ペアに、ヒナが誕生し、渡良瀬遊水地保全・利活用協議会にご協力をいただいて、ヒナの愛称が「りょう」「のぞみ」と決定したことについて、小山市から報告、御礼



「歌」のはく製



210522レイとヒナ



ヒナの愛称募集チラシ

「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会（以下、「本協議会」という。）」の取り組みは、関連性のある既存の組織との連携によって、シナジー効果が期待できる。

既存組織①

「渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会、渡良瀬遊水地エリア検討部会」

トキやコウノトリなどを指標とした河川（渡良瀬遊水地を含む）及び周辺地域で、多様な生物の生息可能な自然環境の保全・再生方策を推進し、賑わいのある地域振興・経済活性化方策に取り組むとともに、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークの形成による魅力的な地域づくりを実現することを目的としている。

既存組織②

「渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会」

渡良瀬遊水地の湿地環境等、自然環境の適切な管理のあり方等を検討することを目的としている。

上記①及び②の組織は、設立の経緯や目的が異なっていることから、各々が独立した組織として機能していたが、本協議会の目的である「渡良瀬遊水地のラムサール条約登録を踏まえ、「湿地の保全」、「湿地の賢明な利用」を図るため、治水機能の向上と継続的な自然環境の保全及び様々な利活用の促進に関し、関係機関及び周辺の住民等が十分に協議を行う。」を実践するため「コウノトリを初めとする鳥類」の生息環境の保全・再生推進の観点からも、今後は積極的に情報の発信・交換を行い、連携を図っていくことが、第7回協議会において決定した。

【R2年度の実施報告】

・上記の情報の発信・交換を効果的に実施することを主たる目的として、渡良瀬遊水地保全・利活用協議会規約第12条に定める「幹事会」に、上記①及び②の組織の構成員を兼ねている本協議会構成員（部会構成員を含む）の作新学院大学女子短期大学部 青木教授に継続してご出席いただいた。

（令和元年度からの試行）

令和2年度 収入・支出決算報告書

1 収入

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
1 分担金	180,000	180,000	0	各市町負担金
2 補助金	0	0	0	
3 諸収入	8	0	△8	
4 繰越金	57,392	57,392	0	
合計	237,400	237,392	△8	

2 支出

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
1 会議費	25,000	0	△25,000	
2 事業費	180,000	5,227	△174,773	コウノトリヒナ愛称 募集チラシ印刷代
3 事務費	5,000	0	△5,000	
4 予備費	27,400	0	△27,400	
合計	237,400	5,227	△232,173	

収入総額 237,392円

支出総額 5,227円

差引残高 232,165円 (次年度へ繰越)

上記のとおり報告いたします。

令和3年8月19日

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
会長 大川 秀子

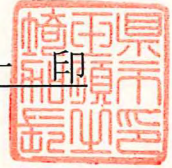
会 計 監 査 報 告

令和2年度渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の収入・支出決算について、収入及び支出に係る証書書類について監査しましたところ、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和3年8月19日

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

監 事 加須市長 大橋 良一



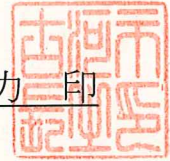
会 計 監 査 報 告

令和2年度渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の収入・支出決算について、収入及び支出に係る証書書類について監査しましたところ、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和3年8月19日

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

監 事 古河市長 針谷 力 印



令和3年度 活動計画について

- I 賢明な利活用及び地域振興検討合同部会（部会長・事務局 栃木市）
令和3年度 活動計画 P 1
- II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会
（部会長・事務局 小山市） 令和3年度 活動計画 P 3



第9回 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
令和3年8月19日（木）

I 賢明な利活用及び地域振興検討合同部会 (部会長・事務局 栃木市) 令和3年度 活動計画

- (1) 【継続】 全体的な計画の検討 (1-1)
「ラムサール登録10周年」にむけた取組み準備と渡良瀬遊水地のビジョン等の検討をする。
- (2) 【継続】 自然環境を生かした利用 (1-2)、ヨシの利用 (4-3)
「ヨシ焼きの継続実施」と「ヨシの新たな利用」のための具体的対応策等を検討する。
- (3) 【継続】 アクセス道路ネットワーク化 (4-4) 遊水地内道路案内 (サイン) (4-5)
「遊水地内の案内サインの改善」について検討・実施する。

「1. 賢明な利活用」及び「4. 地域振興」合同部会① 全体タイムスケジュール(案)

項目	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4～長期	摘要	
1. 賢明な利活用									
1. 全体的な計画の検討	シンポジウム・ロゴマーク	全体計画(将来ビジョン)							全体合同部会での検討が必要
2. 自然環境を生かした利用		↓ 4-3 ヨシの利用に記載						全体合同部会の検討が必要	
3. 地域連携による安全対策								緊急時の連絡先、対応ルールの作成 自転車・歩行者の区割りの徹底、その他安全対策の検討	
4. 利用ルール(マナー、モラル)	10のマナー済み							10のマナーパンフレット等を活用した 普及・啓発	
5. 鳥類、植物、昆虫等の観察マナーの徹底								対応方法の検討、普及・啓発	
4. 地域振興									
1. エコツーリズム								メニュー、企画、受入れ体制	
2. 観光								企画、情報発信	
3. ヨシの利用	よし利用の促進							よし利用の促進、ヨシの新たな利用 ヨシ焼きの継続実施に向けた検討	
4. アクセス道路ネットワーク化	実態と課題の整理	対応方針	協力依頼・改善						
5. 遊水地内道路案内(サイン)	実態と課題の整理	対応方針	協力依頼・改善						

II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会 (部会長・事務局 小山市) 令和3年度 活動計画

- (1) 【継続】野鳥の生息環境の保全(2-3)
昭和46(1971)年に国内野生コウノトリの絶滅後、東日本において2年連続の快挙となる野外繁殖によるコウノトリのヒナ誕生を受け全国から注目が集まっていることから、コウノトリに関する情報提供を随時行うと共に、観察マナー等の周知を図る。
- (2) 【継続】ゴミ対策(2-5)
渡良瀬遊水地の貴重な自然環境を保全するため、ヨシ焼き前クリーン作戦の実施を検討する。
(昨年度新規に実施する予定であったがコロナの影響により中止となった)
- (3) 【継続】遊水地のガイドブック等(3-2)
ラムサール条約湿地登録10周年に向けたパンフレットの作成について、内容についての協議・検討を行い、令和4年第10回協議会までの完成を目指す。
- (4) 【継続】情報提供の場(ビクターセンター)(3-3)
渡良瀬遊水地関連施設を巡る「スタンプラリー」を実施し、4市2町に点在する関連施設間の連携を図る(渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会との連携)。
- (5) 【継続】普及啓発のための人材育成(3-4)
令和2年1月より実施中の「わたらせシルラリー2020」について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年上半期のイベントに中止が多かったことから、期間を1年間延長し令和3年12月31日まで実施する。

「2. 遊水地環境保全・再生」及び「3. 人々の交流・教育・普及啓発」合同部会② 全体タイムスケジュール

項目	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4~長期	摘要
2. 湿地環境の保全・再生								
1. 外来種対策								一部実施中、住民への呼びかけ
2. 希少動植物保全								一部実施中、拡大には、保全区域の設定
3. 野鳥の生育環境の保全								視察の把握と、対策について
4. イノシシ等の対応								看板設置、その他対策
5. ゴミ対策		クリーン作戦実施中						状況を見ながら対策検討
6. 治水(河道整備、避難所、掘削等)								湿地再生事業 治水関連の情報収集
3. 人々の交流・教育・普及啓発								
1. 利活用情報の一元化		システム検討	運用					渡良瀬情報ネットワーク
2. 遊水地のガイドブック等(英語版含む)								英語版パンフレット等について
3. 情報提供の場(ビクターセンター)								体験学習ハウス等、資料収集
4. 普及啓発のための人材育成								ボランティアガイドの養成、湿地の保全する人の育成等
5. 教育・普及啓発のための教材作り		教材作り	学習					治水・利水・歴史・環境

令和3年度 収入・支出予算

1 収入

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 分担金	180,000	180,000	0	各市町負担金
2 補助金	0	0	0	
3 諸収入	5	8	△3	預金利息
4 繰越金	232,165	57,392	174,773	前年度繰越金
合計	412,170	237,400	174,770	

2 支出

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 会議費	25,000	25,000	0	協議会・部会等お茶
2 事業費	180,000	180,000	0	事業活動経費（コウノトリヒナ愛称応募者への各市町特産品ほか）
3 事務費	5,000	5,000	0	事務用消耗品購入等
4 予備費	202,170	27,400	174,770	
合計	412,170	237,400	174,770	

収入総額 412,170円支出総額 412,170円

上記のとおり提案いたします。

令和3年8月19日

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
会長 大川 秀子

(参考) 令和3年度 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 運営負担金予定額について

1. この表は、「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」規約 第14条に基づき、各市町の負担金の年額を示すものである。
2. 負担金額は、均等割額に、前年の4月1日現在の住民基本台帳人口の割合に応じた人口割額を加えた額とする。
令和3年度については、令和2年4月1日現在とする。
3. 均等割額の合計額は60,000円とする。
4. 人口割額の合計額は120,000円とする。
5. 各市町において、4月1日現在の住民基本台帳人口を公表していない場合は、当該日の直近のデータをもとにする。
6. 人口割額を算出する際の、人口割合は小数点第1位を四捨五入した割合とする。
7. 人口割合の合計が100%にならない場合、過不足分を6市町で均等割し、増額及び減額をする。
例 120,000円の1%=1,200円 人口割合の合計が99%の場合・・・ 1,200円÷6市町=200円 各市町+200円
人口割合の合計が101%の場合・・・ 1,200円÷6市町=200円 各市町-200円

市町	均等割額	人口割額				負担金額
		人口	割合	算出額	調整なし	
栃木市	10,000	159,295	26%	31,200		41,200
小山市	10,000	167,203	27%	32,400		42,400
野木町	10,000	25,564	4%	4,800		14,800
板倉町	10,000	14,405	2%	2,400		12,400
加須市	10,000	112,897	18%	21,600		31,600
古河市	10,000	142,618	23%	27,600		37,600
合計	60,000	621,982	100%	120,000		180,000

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 役員

平成 25 年 8 月 協議会発足

会長 小山市 **副会長** 栃木市 古河市 野木町 板倉町 加須市

平成 27 年 8 月 改選

会長 栃木市 **副会長** 小山市 古河市 野木町 板倉町 加須市

平成 29 年 8 月 改選

会長 小山市 **副会長** 栃木市 古河市 野木町 板倉町 加須市

平成 30 年 8 月 ※監事を追加

会長 小山市 **副会長** 栃木市 古河市 野木町 **監事** 板倉町 加須市

令和元年 7 月改選

会長 栃木市 **副会長** 小山市 野木町 板倉町 **監事** 加須市 古河市

令和 3 年 8 月改選

会長 小山市 **副会長** 栃木市 板倉町 加須市 **監事** 古河市 野木町

(役員を選任及び任務)

第 6 条 本協議会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 3 名
- (3) 監 事 2 名

2 役員は、別紙 2 の地方自治体の長の中から互選により選出するものとし、協議会構成員の承認を得る。

3 会長は、会務を総理し、副会長はその補佐をする。

4 会長に事故のあるときは、副会長が代理をする。

5 監事は会計を監査する。